

リフレクションカード 2015年度前期

学科	生活創造
氏名	東彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キリスト教学Ⅰ	1	前期	必修	いいえ	29

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○		○	

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本講義は、必須科目として「感恩奉仕の土台」を身につけることが目的なので、授業ではキリスト教の基礎を体験的に習得できるよう、祈りや自ら聖書を読むこと、紙芝居や絵本の読み聞かせなどを取り入れた。また、授業以外のチャペルの参加や、教会訪問なども評価に取り入れ、授業外でキリスト教に触れる体験の機会を設けた。</p> <p>昨年度からの改善としては、毎回の授業中、ポートフォリオでの学びの確認だけでなく、Bible Note作成を導入し、出席率でしか評価できなかったチャペルでの体験的な学びが、毎回のチャペルのコメントをノートに張りつけ、見直すことができるようになった。また、このBible Noteには、授業外で聖書を読んだ時のコメントなども記入できるようにし、予習・復習に取り組みやすい工夫をした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
		達成された	やや達成された		達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートの結果より、知識理解に関しては3.8ポイントであった。トータルの成績の平均値は約80%以上。チャペルの出席率約80%以上とコメントカードの内容、教会訪問の出席率約90%以上と感想文の内容から、感恩奉仕の価値観を学び、聖書の視点を知り、キリスト教の源泉に触れるという、教育目標はやや達成されたと言える。キリスト教学Ⅰはキリスト教の導入なので、今後、キリスト教学Ⅱの中で、Ⅰで学んだ知識をもとに、発展させていくような展開が必要とされる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は本学の要となるキリスト教を学ぶ「必修」科目である。しかし、初めから興味を持って受講する学生はわずかである。キリスト教に全く興味のない学生も受講しているため、動機付けに工夫が必要であるが、全体的に一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 感恩奉仕の価値観を学び、聖書の視点を知り、キリスト教の源泉に触れるという、行動目標に沿い、学問としての聖書の講義とアクティブラーニングの学びの他、チャペル出席、教会出席、等を行い、授業内で学ぶ事の出来ないキリスト教の源泉に触れるなど、内容的には妥当であったと考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>Bible Noteを今期より導入したが、未だ、使用方法の指導が徹底していなかった。キリスト教学Ⅱに引き継いで使用するものとして、キリスト教の学びの集大成として作成していきたいので、今後は授業外の予習・復習などで用いる事、チャペルのコメントカードを貼付け見直すことなどを、徹底していきたい。 本講義は、興味のない学生にも興味をもってもらうことが重要である。授業の質評価において、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均が3.7であったが、引き続き、アクティブラーニングの手法を工夫しつつ、学生たちが自ら聖書を開いて、日常生活に応用できるような仕組みを作りたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>必修科目の位置づけであり、本学の要となる「感恩奉仕」の土台を学ぶ科目であるが、関心や興味のない学生たちに主体的に学習してもらうために、工夫が必要である。受け身的に知識を得るだけでなく、各回ごとに必ず学生が主体となって行うディスカッションや、絵本・紙芝居の読み聞かせなどを入れ、授業を造り上げる一員としての自覚を養うように促している。授業の最後に記入するポートフォリオやチャペル出席・教会訪問に加え、それらの学びをひとつのノートに記録できるよう、Bible Noteを作成したのが今年の特徴であり、これについては、更に使用方法を工夫し、新たな予習・復習のツールとしても取り入れていきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	生活創造
氏名	中島俊介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
心理学 I	1	前期	選択	いいえ	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>心理学の分野はすごく広く多岐にわたっている。基本となる心理学一般の基礎知識や教養的知見の修得を目指しながら、専門性のある生涯発達心理学の視点から授業を組み立てている。それは今を生きる学生に最も必要な「同一性の形成」に関わる問題だからである。昨年度の大きな課題は集中力と興味関心が切れて寝てしまう学生への対応であった。このため講義途中で「質問会」形式を取り入れた。自由記述などを読むと概ね成功したと理解できる。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された		達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>全体を通して達成されたという根拠は「定期試験の結果」である。優れた及び良しの合格点を取った学生はほぼ100パーセントに達した。本試験は記述式がその中心であるが、記載の内容もしっかり書かれており授業者の満足を得るものであった。また学生の授業評価アンケートの記述にも「分かりやすかった」「映像が面白かった」などが多数あり知識理解と意欲関心について一定の水準を保ったことが伺えると思った。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>毎回の授業について、ミニ感想や質問を自主的に書いて提出するように求めている。この効果は大きく好評のようである。自由記述を見ると、これに関する「授業者の回答の時間が一番良かった」「心理学だけでなく先生の話が面白かった」等の記述もあり、本科目の目標である「ストレスの多い現代社会を生き抜く健康な心構えを形成する」というねらいが達成されたと評価できる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業に臨む前の学習の促進を図るための「次回の授業までに日々の生活の中で心にとどめておいてもらいたいこと」を伝えた方が良いのではないかと授業アンケートの結果から言える様である。学習量を高める工夫の一つとして予習の課題設定を今後試行してみたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>年度当初の学生に期待した行動目標は概ね達成出来たと思う。しかしまだ授業中に集中力が途絶え、睡眠モードに切り替わる学生が幾人が存在する。睡眠学習者0を達成するのは容易ではない。映像や教師の発問、討議話題の挿入などまだ工夫の余地は大きい。がんばりたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	生活創造
氏名	戸田由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
文学 I	1	前期	選択	はい	5

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○				○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>人数はますます多いほうだが、それゆえに学生の受け止め方が千差万別である。したがって、学生自身が将来目指す保育士像というシミュレーションに沿って、それと重ねて文学的考察をすることに重きをおいた。つまり、文学というものが「こころと言葉」に端を発していることを念入りに解説しながら、作品のなかにあらわれる人生観、社会観、職業観といった方向に講義し、引いては「生きてゆくことの意義」と「表現すること」の重要性を説くことに努めた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>全体を通しての評価としてはいつもとあまり変わらないが、73%程度である。意欲を示して毎回の講義を楽しみにする学生と直ぐしゃべり始める学生との(少人数ではあるが)温度差をどの様に対処してゆくのか、といった課題点がある。講義中の提出物に対する反応は大体80%答えているが、自ら図書館に行って予習をするわけではないようだ。このあたりがアンバランスな点でもあり、一般教育科目としての捉え方の特徴が出ているのかも知れない。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は、選択科目であり、また一般教育科目でもあるので、専門科目との連関性が心配であったが、そのあたりのことは学生もしっかり把握しているようであったので、内容的には妥当性があると考えます。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 予習復習の点に於いて、「する必要がない」というとらえ方もあったようであるが、講義の回数を重ねるうちに考え方が少しずつこの科目に慣れて、理解力が徐々に増しているようであったので、内容的には妥当性があると考えられる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生たちがもっと読書欲をおこすような講義体制になるように改善してゆきたい。そのためには、読書指導のマンツーマンの講義を考えている。「面白く楽しい感覚を味わう」学問の在り方を考えてみたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>今のところ、講義内容についてはそれなりに理解しているようであるが、世の中の若者たちも少しずつ、われわれとは温度差があり、認識の在り方やそのプロセスを考え直さなければ、いけない時代が来ているように感じる。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	生活創造
氏名	戸田由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
文学Ⅱ	2	前期	選択	はい	1

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○				○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>文芸学の諸問題について考察し、それが具体的に文芸作品とどの様に関わってゆくのか、それを日本人の心の中に伝統的に育成されたルーツを探ることを目的にして講義を進めた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	達成された	達成された		やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>受講生自ら、テーマを決めてこの講義と向かい合ったので、かなりのところまで関心を持って追求できたようである。したがって80%の達成度はあったようである。プロセスとしては困難もあったようであるが、結果としてはなかなか良い状態であった。</p>					
<p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 選択科目であり、一般教育でもあるが、学生自身の関心分野と文芸的接点を見出して、一人ひとりテーマを見つけて取り組んでいるので、内容的に妥当性があると考えられる。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 自身の考えをまとめるためにかなりの努力がみられたことは確かであるので、内容的に妥当性があると考えられる。</p> <p style="text-align: right;">自</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>昨年から現在の方法に改善しているので、今しばらく続けてみたいと思っている。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>受講人数の少ない科目ではあったが、学生の関心と講義の方法がマッチしていたので、来年もこの体制で講義を進めてゆきたいと考えている。願わくば、もう少し、活字に対して敏感になってほしいところである。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	生活創造
氏名	小池順一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
法学	2	前期	選択	はい	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>当該科目は、一般教養に該当する科目であり、専門性は有しないため、学生の事前の知識はほとんど無かった。受講動機として、単位数を確保するためが多かった。そこで、学生の興味を引くため、日常生活において、生じる様々な具体的な事例を基に法律的な観点からの説明をした。できるだけ、分かりやすい例を用いたが、到達度自己評価における回答を見ても、所期の目的は達成できたといえる。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された		やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の到達度自己評価をみると、自分なりに目標を達成できたかについては、3、4、知識を新たに得ることができたかについては、3、8という評価であった。課題レポートを見ると、SまたはAという全体的によい成績であったので、学生が自己評価している以上の目標は達成できたように思う。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は選択科目であり、単位数を確保するためという学生が受講していた。しかし、受講態度は良好であった。授業では、単に法律についての知識を得るだけでなく、論理的に考える力も学習できるように説明を工夫した。レポートをみても、各学生がよく課題について、論理的に自分の考えを述べていたので、教養的な科目としては妥当であったと考える。以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>日常生活において、学生が将来、遭遇するであろう事例を用いたので、学生の興味を引き付けることができた点は良かった。本来であれば、予習を充実させてほしいところであるが、法律的な専門用語が多いため、学生の自主的な予習活動は困難であると思われる。そこで、予習をしなくても授業が理解できるよう、授業において、専門用語の解説、法律的問題点について、丁寧に解説した。今後の課題としては、復習の充実と授業を受けて更なる問題について、図書館等で自学自習できるような方法を教えたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>少人数の授業であったので、学生にしばしば質問をし、また学生からの疑問についても答え、双方向の授業ができたと思う。今後の課題としては、学生が自分で更に学習するための図書館やインターネットの利用方法などの方法論についても解説していきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	生活創造
氏名	領木 信雄

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
コンピュータ・サイエンス II	2	前期	選択	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>応用的な位置づけの、コンピュータやネットワークの仕組みについて扱う科目であるので、単に解説を追うだけでなく、学生が実際に手を動かして計算したり手順を確認したりして試みることで理解へつなげるようにした。</p> <p>また、それが具体的にどのように利用されているかについても実例を多く挙げて紹介し、理論と実際の結びつきがわかるよう工夫した。毎回シートを配布して質問やコメントを回収し、授業が一方向的にならないようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は84点、再試験となったのは0名であった。毎回の小レポートと期末のレポートから評価した。ほとんどの学生が全てのレポートを提出していた。</p> <p>学生による到達度自己評価においては、「少しそうではないと思う」以下を選択した学生が3～7名ほど見られた。2年生の授業ということもあり、パソコンの具体的な利用についてではなくやや抽象度の高い仕組みの理解を問う内容となっているので、このような結果になっているものと思われる。抽象的な仕組みと具体的な利用例が繋がって理解できるように工夫していきたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>1. CP・カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は一般教育科目の選択科目である。身につけるべき「短期大学生としての教養」を扱う科目として、また、カリキュラムツリーにおいて「応用」の段階を担当する科目として、内容的に妥当であると考え。</p> <p>2. DP・行動目標からみでの内容的妥当性 特に「情報に関する基礎的な知識と理解を有している」「社会で自立して働き生活していくために必要な基礎的な実務能力」について、内容的に妥当であると考え。</p> <p>3. まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均値が3.0であった。課題への取り組みは毎回あるので、グループワークなど、それについて話し合い・発表などの機会を設けるようにしたい。</p> <p>授業の質評価において「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均値が3.0であった。毎回シートを配布し授業へのコメントや疑問点を書いて提出してもらっているの、それをより活用してもらえようようにしたい。</p> <p>また、復習を行なっている学生が多くないことが分かった。復習すべきポイントを分かりやすく伝えるよう工夫したい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>レポートの提出状況も全体的に良好で、平均点も高かったが、達成度自己評価がやや低い学生が見られたので、内容の位置づけ・意味づけなどに工夫をし、また、復習しやすいようにして、疑問点を解決できるようにしてゆきたい。</p> <p>教科書に沿って進めたが、より広いテーマを扱えるよう、取捨選択する必要がある。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	生活創造
氏名	領木 信雄

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
コンピュータ・サイエンスⅠ	1	前期	選択	いいえ	29

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1年生前期の、コンピュータやネットワークを利用するにあたって利用者として知っておくべき事柄について扱う科目であるので、教科書的な説明に留まらないよう、話題になった事件・現在販売されている製品なども題材に身近な話題になるよう心掛けた。</p> <p>パソコン・スマートフォンの利用状況については簡単なアンケートを行なった。毎回シートを配布して質問やコメントを回収し、授業が一方向的にならないようにした。授業で扱った範囲外の個人的な疑問を積極的に記入する学生も何人かおり、いくつかは授業の中で話題に取り上げた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された				達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は77点、再試験となったのは4名であった。知識を問う試験と制作の課題から評価した。持ち込み可としたにも関わらず試験ができていない学生が見られたので、途中での理解の確認をこまめに行うようにしたい。課題はほとんどの学生が提示した条件を全て満たすように出来ていた。</p> <p>学生による到達度自己評価においては、どの項目においてもほぼ全員が「まあまあそうだと思う」～「かなりそうだと思う」を選んでおり、目標達成状況は良いと言える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>1. CP・カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は一般教育科目の選択科目である。身につけるべき「短期大学生としての教養」を扱う科目として、また、カリキュラムツリーにおいて「基礎」の段階を担当する科目として、内容的に妥当であると考え。</p> <p>2. DP・行動目標からみでの内容的妥当性 特に「情報に関する基礎的な知識と理解を有している」「社会で自立して働き生活していくために必要な基礎的な実務能力」について、内容的に妥当であると考え。</p> <p>3. まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均値が 3.4 であった。課題の自由度が高いので、それについて話し合い・発表などの機会を設けるようにしたい。</p> <p>また、復習を行なっている学生が多くないことが分かった。復習すべきポイントを分かりやすく伝えるよう工夫したい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>知識を問う試験で得点の低い学生が数名見られたが、それ以外については達成状況は概ね良いと言える。復習すべきポイントを分かりやすく示すなどして対処したい。</p> <p>課題の自由度が高いことから、課題の内容について戸惑う学生も見られたので、具体例を多く示してイメージをつかみやすくなるよう、また、制作したものに関して話し合いや発表の機会を設けていくようにしたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	生活創造
氏名	石田 もとな

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英語I	1	前期	選択	いいえ	18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○				

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①毎回のトピックスに関するエピソードを集め紹介した。英語が専門ではなく、英語は好きではないがどれかを選択しなければならない学生もいることを考え、なるべく楽しく、英語が学べるように『英語を使って、楽しむ』ことに重点を置いた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成されなかった	やや達成された				やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>非常に熱心な学生と、単位取得のためという学生の温度差があった。取り組んだ学生にとっては、世界の様々なことについて知識が増え、表現の方法等も学べたと言える。合間に入れた映画に関しては全員熱心に表現について学習していた。</p>					
<p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>学生アンケートは、『知識を確認修正したり、新たに得ることができた』が、3、8と最も高く『表現力を高めることができた』が3.6と3番目に高い値であることから内容的妥当性はあると考えられる</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価においては、全ての質問に対する回答の中央値が4.0であった。『自分の意見をまとめ話し合うなど参加する機会が設けられていた』『質問を受け付けをれに答える機会が設けられていた』の平均値がともに4.1と最も高く参加型の授業と受け入れられたことは理解できる。自由記述にはとにかく楽しかったというコメントが多かった。楽しく、かつ全員が熱意を持って取り組める授業にするために今後も改善を続けたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>英語を楽しんでもらうことに関しては達成できたと考えているが、もっとディスカッション等を取り入れることができるよう表現力の向上に努めたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	生活創造
氏名	金銀英

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ハンゲル I	全学年	前期	選択	はい	22

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>○第二外国語として初級レベルの韓国語力をつけることを目標としている。開講後に行ったアンケートで(学校で実施する授業評価ではなく、別個に実施)「英語以外の言語に触れてみたい」や、「韓国旅行の際便利そう」などの積極性が見られる受講動機がある中「単位が欲しいから」との返答もなるなど、学生間の温度差があることが分かった。</p> <p>○受講姿勢に差がある60に近い受講生全員が興味と持つように「楽しい」授業を目指した。学生が興味を持ちそうな韓国事情や毎年好評のK-popなどを授業に取り入れ最後の授業まで韓国語への興味が持続するように勤めた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>登録のみで授業に出なかった1名を除いた57名の成績平均は83.160で理想的レベルに達することができ、再試対象者もいなかった。</p> <p>授業評価における到達度自己評価でも全設問満足度が高いという嬉しい結果となった。中でも「知識を新たに得ることができた」や「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の設問に特に高い満足度が見られ、講義が重点を置いている点と学生の満足とが一致する結果が得られた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>CP, カリキュラムマップ上の位置づけから見ると内容的妥当性試験の結果で見られるように第二外国語として、目標としていた成果を挙げられたので内容的に妥当性があると考えられる。</p> <p>DP 授業中、学生達から受けた印象もさることながら、到達度自己評価でも高い評価を得ているので妥当性があると考えられる。</p> <p>まとめ 以上のことから内容的妥当性には問題ないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>初級という授業の特徴上、学生間やり取りが難しいが、なんとか授業に取り入れる方法を考えたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>第二外国語として学習歴のない学生を対象に、基本となる話す・聞く・書く・読む力をつけることが目標だった。その目標を達成できたことにより次の「ハングルⅡ」に進むに不足しない実力がついたと思われる。そして授業評価の自由記述に「上級クラスがあれば進みたい」との意見があったことがこのクラスの成果の表れと言えよう。来年度も引き続きよい成果を挙げられるようがんばりたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	生活創造
氏名	戸田 由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
日本語表現法	2	前期	選択	はい	1

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○				○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>昨今、活字離れの現状を指摘されるが、学生の苦手意識を払拭するために、表現することの意義をわかりやすい事例をもとに説明することに力をいれた。日常生活意識の中にある表現をモチーフとして、話し方、文章の作り方等、その組み立て方の根本的基礎的奥義を解説した。ただ単に私の講義を聞くだけではなく、その都度、簡単な問題を通して、学生自身の実力を測りながら講義に臨めるように配慮した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成されなかった		やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>この科目について、教員から要求されたこと以外に自分が調べる、或いは学習予習するといった学生は半分以上いないようである。何が重要であるかはよく理解できているが、それを活用する意欲や工夫、関心といったものは浅く、試験に出そうだから頑張るという傾向が強いようであった。したがって、課題を出すより、その講義中、徹底的に集中できるような方法を取るべく講義することに力を注いだ積りである。技能表現に関しては、65%から70%である。もう少し意欲を出せば、おのずと成果も期待できるかと考えるところである。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容妥当性 科目は選択科目である。受動動機を見る限りでは、少なくとも関心はあったようであるが、学習方法がわからない学生もいるという事が判明したので、それなりの対応を工夫した。そのために内容を修正しているので、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>DP、行動目標から見ての内容妥当性 績評価から技能表現に関する達成度がやや低かったが、時間をかけて学ぶ方法の修正をしているので、内容的には妥当であったと考える。</p>	<p>本 ② 成</p>
--	---	----------------------

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>今まで通りの方法に加えて、示す事例をさらに増やしながら解説してゆきたい。今以上にマンツーマンの指導も続けてゆきたいと思う。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>達成状況からくる総括的評価は70点という所である。受講した学生すべてが満足理解できるよう、質問コーナー通信を徹底させたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	生活創造
氏名	桑野嘉津子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ボランティア論	2	前期	必修	いいえ	36

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は必修であるがボランティアについて学ぶ意義を理解できないまま受講している学生が多く、学ぶことへの動機づけが大きな課題である。今回の受講動機をみると「必修科目である」が100%で「関心のある内容である」は1名のみであったことはこのことを示唆するものであった。できるだけ身近な事例を挙げて、関心を引きつけるようにしている。 ②昨年度までと同様、授業の最初に学習準備状況の確認アンケートを行った。ほとんどの学生がこれまでに学校などでボランティア体験をしているが、新聞を週1回以上読む学生は6%にとどまっているため、社会の情勢や地域の課題について関心を持つためにボランティアに関する記事を探し感想を書くことを課題とした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された		やや達成された	達成された	やや達成された	
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	<p>身近なボランティア活動について調べ資料を作りプレゼンテーションをするという課題、ボランティアに関する記事を探し感想を書いて提出するという課題については全員が達成、各自でボランティアを実践し報告書を提出する課題については86%が達成し、レポートの内容についても全員が標準レベルに達した。目標別に見ると思考判断では口頭発表やレポート記述に自分なりの考えをまとめることが出来ていたが、独自性や独創性のあるものは少なく、次年度に向けての課題として検討したい。 意欲関心についてはそれぞれの課題について全員あるいは高い割合で達成したこと、また要求された量以上の課題を提出した学生が12名いたことは、受講動機が「関心のある内容である」は1名のみであったことから考え合わせると評価できるのではないかと考える。 態度についてはそれぞれの課題を達成したという点では評価できるが、ボランティアに求められる「自発性」という点では十分ではなかった。 ボランティアの学びが自分自身の成長につながるかと捉えられなかった点は次年度に向けての課題として検討したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみても内容的妥当性 本科目は必修であるが授業準備の欄で指摘したように動機付けに苦慮する面があるが、課題を工夫し、学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。 ②DP, 行動目標からみても内容的妥当性 それぞれの課題について高い割合で達成したことから、内容的には妥当であったと考える。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>ボランティアの学びは技術向上や資格習得など学生の成長に直結するものではないので動機付けに苦慮する面があるが、日頃の学生生活の課題と結びつけることで身近な問題としてとらえることができるようにしていきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>毎回のねらいを具体的に示すことで学びの意義を明確にしていきたい。 学生にとってすぐに役立つ学びにならなくとも、現在の学びが未来を豊かにするための種をまくことだと長い目で捉えて授業をすすめたいと考える。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	生活創造
氏名	木村久江

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
調理の基本	1	前期	必修	いいえ	29

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○		○		○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機として、「必修科目である」100%、「関心のある内容」8%と調理に対する関心の低さを示唆するものであった。</p> <p>②前期の調理実習においては大学入学までの調理体験はあるが実習時間内に調理完成までの工程を行うには、かなりの経験値が必要である。調理の基本を身に付けるために調理を安全かつ衛生的に行う心構えや調理操作の詳しい説明を行ってきた。</p> <p>③調理用語や包丁の使い方を知らない学生が増加してきたため、シラバスを一部修正し、視覚から理解できるように調理操作を写真にとり説明後、師範を再度行い確認させた。新たにこれらの項目に関しては全員の学生が体験し、修得できるように授業を改善した。</p> <p>④包丁の使い方を修得後、前期の前半と後半に包丁の実技テストを行い、包丁の使い方が上達しているかを確認させている。上達することにより、成功体験から調理することに関心を持たせ、実習授業だけではなく日常的に調理に関心を持つように進めている。</p> <p>⑤週に1回の実習授業のため、実習前には、図書館で調理用語などについて予習をし、実習後には、復習の意識を高める為に自宅でみそ汁作りなどを課題とし、調理が日常的な行為であることを体得させることに努力をしている。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	やや達成された		達成された		達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①調理実習授業である為、定期試験ではなくレポート等を課題としている為、学生全員が15回のレポートを提出した。最終的な成績としては、平均値は85点で全員が標準的レベル達したが、理想的レベル(概ね90点以上として)に達しているものは9名であった。</p> <p>②学生による授業評価アンケートから、知識理解 (DP1)に関しては、平均値4.0、中央値4.0で調理の知識を確認、修正したり新たに得ることができ、それぞれの学生の自信に繋がったと考えられる。また、意欲関心 (DP3)に関しても、平均値4.1、中央値4.0で調理の基本の学びを深めたいと意欲がでてきたことが窺える。そして、技能表現 (DP5)に関しては、平均値4.1、中央値4.0で調理技術やおもてなしができる表現力が身につく、学生の自信に繋がったと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「専門教育科目」の基礎であり、後期に行う調理実習の「応用科目」とし繋ぐための重要な位置づけとして必修科目である。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 到達度自己評価から、学ぼうとする専門分野で必要となる技術の習得ができたと思う。また、これを用いて創意工夫し、自分なりの表現力を高められたとする評価が多かった。内容的には妥当と考える。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的には妥当であったと考える。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①授業の質の評価では、いずれも平均点で、4.1～3.9と大きな課題はないと思われる。調理実習授業の為、実習中は机間巡視を行い各班の理解度を把握したり、質問や手助けが必要な学生に適切な調理操作を説明し、コミュニケーションを図ってきた。今後も安全かつ衛生面に留意し、授業を進めていきたい。</p> <p>②学術データベースやインターネットのHP検索などは、利用者が少なかった。図書館の利用については、毎回の課題レポートに図書館の図書で調べることを課題にしている為、利用者が過半に達しているが、今後はさらに図書活用者を拡大したい。</p> <p>③学習量の評価における、個別コメントにおいても、家庭で実際に料理を作ったとの記述が多数見受けられ、「衣食住における基礎的な生活技術」を得てそれを自分の創意を加えて実践できている学生もおり、授業の進め方も概ね妥当と考える。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>①本授業は、必修科目であり、生活創造学科の食における、知識の基礎となる位置づけである。 授業の達成度自己評価においても、概ね平均、中央値とも4.0程度であり、期待した修得ができたと考える。</p> <p>②実習などを通じてDPにある、衣食住に関する基礎的な生活技術を修得し、今後のみずからの生活に創意を加えて活用することについても概ね達成できた。(授業以外の家庭での料理の実践など)</p> <p>③今後の改善点として、授業以外でも、学生の食に関する質問を受ける場を増やし工夫していきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	生活創造
氏名	富田 純史

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
食品の安全性	1	前期	必修	いいえ	29

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>食品の安全性は、1年生前期必修であり、昨年度から担当することになった。講義開始直前に、学科から“フード・コーディネーター”資格試験に対応した内容とすることが指示された。具体的には、“洗剤の基本”、“食の安全”であり、シラバス記載の内容とほぼ沿ったものであったが、急遽必要な参考書・過去問などの手配を行った。講義内容は、①概論、②食品の腐敗・変敗、③食中毒、④食品の安全性確保(家庭・環境)、⑤安全管理、とした。2013年の過去問集が入手出来たため、各講義内容に既出問題のポイントを織り込むように努めた。講義方法としては、他の担当科目と同じく、各講義開始時に、1)講義の重点を箇条書きに板書し、2)独自に作成した配布資料、3)独自に作成したパワーポイント、4)講義に関連したDVD、を用いて理解しやすいようにした。各講義終了時に、5)講義内容に関する要望・講義中に質問できなかった疑問・感想などの自由記載、で次回の講義での速やかなフィードバックを行うようにした。質疑に対しては、口頭だけでなくパワーポイントを作成し、必要に応じて配布資料を作成するようにした。さらに、講義期間の中間と終了時に、6)講義内容のまとめと要点の説明を行うようにした。これらの方式については、講義のガイダンスにおいて事前説明を行うようにした。講義中には教壇からだけでなく教室内を適切に回ることにより質問したり必要な注意を与えたりするようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>試験期間に筆記試験を実施して得られた成績は必修科目のため29名ほとんどが80点以上の満足すべき結果であり、1名のみ出席回数が三分の一で失格であった。再試対象は0名であった。講義出席率も一部健康に由来するものを除けばほぼ100%であった。こうした理由として授業準備であげた、各講義開始時の、1)講義の重点を箇条書きに板書、2)独自に作成した配布資料、3)独自に作成したパワーポイント、4)講義に関連したDVD、を用いた点、に加えて各講義終了時に、5)講義内容に関する要望・講義中に質問できなかった疑問・感想などの自由記載、での速やかなフィードバック、質疑に対しての口頭だけでなくパワーポイント・配布資料による理解補助、講義中間と終了時の、6)講義内容のまとめと要点の説明、教室内を回っての質問や注意、などが奏功したものと考えられる。学生による授業評価では、到達度自己評価、質評価、学習量評価、情報利用、図書館利用評価において、評価が低いものが項目により1～2名見られた点は次回の改善点として、全員の満足度が得られるように検討したい。次年度では、必修科目のために本分野への関心が低いにも受講している学生に対応した講義内容になるようより整理したシラバス作成を行うべく検討を進めたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性: 本科目は1年生前期必修であるため、入学直後であり予備的・専門的な知識や将来的な展望・目的が不足している学生もいると考えられる。このため、本講義では他の担当科目と同じく受験準備のための講義でなく当該分野に興味をもち将来的計画への一助となるように工夫した。講義中の受講態度、毎回実施した要望・質問・感想の結果並びに最終試験結果から内容的には妥当なものであったと考える。②DP, 行動目標からみた内容的妥当性: 入学時の知識による理解・思考判断は、他の実習などの受講科目と補完していることが上述の要望・質問・感想の内容から判断できるものであった。従って、内容的には妥当であったと考える。③まとめ: ①並びに②から、内容的妥当性に問題はないと考える。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の到達度自己評価では3.0～3.3、授業の質評価では2.9～3.3であった。2.9は学生の参加と思考の機会に関するものであった。時間的制約と講義分野の性質から十分得ることが出来なかったが、次年度ではシラバスを工夫し講義方法を改善することで可能となるよう検討したい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>入学直後に実施する講義として食品の安全性に関する基礎的知識の理解と興味をもたせることにある程度達成できた。来年度にむけた課題としては、1)本講義に関心の低い学生にも受講しやすい講義内容の工夫、2)本講義に関連した他の講義内容、とくに関連の実習についてシラバスだけでなく実際の担当教員との意見交換や打合せの機会、などが挙げられる。とくに後者が得られれば学生への負担軽減と効率的なより系統的な講義が実施できるものとする。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	生活創造
氏名	谷崎 太

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
コンピュータ文書演習	1	前期	必修	いいえ	29

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>・受講動機は次の通り。必修科目である100%、資格取得に必要である3.6%、関心のある内容である7.1%、単位数を確保する10.7%</p> <p>・学科における必修科目である。</p> <p>・予め、初学者の受講を想定して、テキスト、問題集の指定をした。</p> <p>・テキストの内容を理解、定着させるためには例題等による問題演習が不可欠となる科目であるため、コンピュータ操作の手順ならびに理論を解説した後、問題の演習を行う形で進めた。</p> <p>・コンピュータ操作の手順ならび理論の解説には、テキスト、授業用に作成したスライド、プリント等を用い、問題の演習には、テキストの例題、問題集を用いた。</p> <p>・授業で示された手順、解説をノート等に記録し、それを予復習に利用することで、自発的学習に対応できることを想定している。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された			達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>・前期試験を経ての成績評価は、平均77点/100点であった。再試対象者は0名であった。</p> <p>・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値3.7で最も高いスコアであった。</p> <p>(1) 自分なりの目標を達成した</p> <p>(2) 知識を確認、修正したり、新たに得ることができた</p> <p>(7) 自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた</p> <p>・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値3.4で最も低いスコアであった。</p> <p>(8) コミュニケーション力や表現力を高めることができた</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>・学科のDPの知識理解 (DP1)、技能表現 (DP5) の基礎部分を担う必修科目として開講している。</p> <p>・受講動機、学習到達度の自己評価の結果から判断して、内容的妥当性に問題はないと考える。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none">・授業の質評価の5項目についてのスコアは3.5～3.6であり、概ね意図した授業が実施できたと考える。・学習量の評価では、予復習、自発的学習が殆どなされていないことが示唆される。予復習に関する個別具体的指示を行う、および予復習、自発的学習の効果を検証する仕組みを工夫するなどの余地があると思われる。・図書館等の利用は、ほぼ行われていなかったが、初学者向けの科目であるので特段支障はない。ただし、理論が身近な場面で活用されている事例等を参照するなどを促すことも学習の深耕に資すると思われる。
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<ul style="list-style-type: none">・当科目によるDP上の意義は概ね達成されていると考える。・予復習、自発的学習を促す工夫をする余地があると考ええる。
-------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	生活創造
氏名	戸田由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
美しい日本語と文章表現	1	前期	選択	いいえ	15

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○				○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は生活創造学科のための科目であるゆえに、科の特質に沿うように配慮した。ことばの背景に隠れている日本文化についても認識を深めることができるように数々の方法論を提唱し、学生たちが自ら実践しやすい事例、美しい表現を提示しながら、的確な日本語の文章表現が習得できるようつとめた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された		やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>講義初めはあまり意欲的ではなかった。したがって行動目標としてのパーセンテージは50パーセントぐらいであったが、講義中の小テスト等々をするうちに徐々に、学生の心構えに良き変化がみえたように見受けられた。そのあたりから、遅ればせながらの「意欲」というものが芽生えたようである。したがってこの講義に関しては客観的データも内的変化が著しいので最終的な結果としては75%の理解と思考判断という成長があった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみても内容的妥当性 本 科目は選択科目であり、一般教育科目であるので、専門科目との関連効果があることも考慮に入れての講義内容であったが、それなりの成果があったので、内容的に妥当性があると考えます。</p> <p>②DP, 行動目標からみてもよい妥当性 思考判断の観点が一番心配であったが、徐々に伸びて行っているため、内容的に妥当性があると考えます。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の進め方においては、今以上にグループミーティング形式を取り入れていくべきかと考えている。小人数であるので、そういった雰囲気に対応しい講義の進め方を再検討したい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>達成状況としては、そう悪くはないが、活発な、或いは積極的な意欲をもって予習、復習があるわけではないので、切磋琢磨できるような講義内容を再検討したいと思う。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	生活創造
氏名	齊藤育子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
人間形成論	1	前期	選択	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○		

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①入学後すぐに受講する講義科目であることを意識して、第1回目の授業時には、シラバスを用いて当該授業科目の開講の意味や位置づけについて講じた。同時に、受講の心得についても丁寧に説明をした。</p> <p>②授業内容に興味関心が持てるよう予習と位置づけた「心に残った教育記事や子育て問題の新聞記事およびそのコメント」については、第1回目に課題の目的を説明した。さらに、8回目に一旦授業に持参するよう促し、履修者それぞれの途中経過を見てコメントを伝え、積極的な取り組みができるように導いた。</p> <p>③昨年度には、授業内容について学生の発言を求めることが少なかったため、可能な限り授業内で発言する機会を設けるよう心掛けた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された		
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>①評価割合は、秀23.1% 優23.1% 良23.1% 可30.8%であった。秀優良が同率となったのは予想外であったが、全員標準レベルに達したので、全体を通して「やや達成された」と理解している。最終成績の平均値は、約77.6点、最高点は90点、最低点は60点であった。</p> <p>②到達度自己評価によれば、履修者全員が全質問に対して「③まあそうだと思う④わりにそうだと思う⑤かなりそうと思う」と答えており、「①全くそうでないと思う②少しそうでないと思う」と回答した学生は全くなかった。</p> <p>③自由記述において「学習量の評価(4)授業の課題以外に学習していない理由」として、回答した学生も「必要ないから」1名「やり方がわからなかった」1名にどどまっている。</p>					
* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>学科の【DP1【知識・理解】 1-2)生活教養、情報、ビジネス、食、健康、ファッションに関する基礎的な知識と理解を有している。DP2【思考・判断】 2-1)他者への思いやりをもって、家庭・地域・職場への貢献を意識した思考・判断ができる。DP3【関心・意欲】 3-1)自らの生活の営み、次世代を担う健全な心身の育成、家庭・地域・社会の相互のかかわりについて関心と意欲を有している。】に沿った科目として開講されている。さらに、本授業科目は、専門科目という位置づけはあるが、「生活教養」領域の科目に当たる。この領域では「人間・家庭・生活について学ぶ」のであるが、科目そのものは1年生前期に配置される基礎という位置づけとなる。したがって、授業内容としては、学科のDP、CPに沿った内容となっている。2年間で多くの科目を履修しなければならないという短期大学の性格上、この科目は選択科目として設けられている。にもかかわらず、受講動機については、83.3%の学生が単位数確保を動機に履修しており、講義内容に関心をもって受講していると表明した学生はわずかに25%となっている。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>5回目には2から4回目まで、8回目には5から7回目まで、12回目には8から11回目までの授業を振り返り、授業内容を纏めてレポートとして提出するように求めた。そのことによって、1つの纏まりのあるテーマに基づいて、知識の定着化を目指すと同時に、それぞれ課題を明確にし、考える機会を提供したつもりであった。確かに、聞きっぱなしの講義形式科目の欠点を補うには効果があったと思われる。それは、アンケートの「3. 授業の質評価」の、「(4)授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の項目でも見られるように③まあそうだと思う④わりにそうだと思う⑤かなりそうだと思うの割合が、③38.4%④46.1%⑤15.3%であり、かなりそう思うの割合が高いことからわかる。けれども、提出されたレポートは、評価対象としたもののそれらを返却して学びを深めるツールとすることが出来なかった。既に授業回数が進みテーマが異なるのでそのタイミングを失ったからである。今後この点を改善するために、シラバス上に学生へのレポート返却とそれらに対するコメントを履修者が共有する時間を設けたいと考える。(本授業科目は、今年度で開講されないことが決まっているが、他の授業でこの反省を活かしたい。)</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>学科のDP,CPIに沿って設置された授業科目であり、授業内容である。選択科目にもかかわらず、単位数確保のために履修したと答えた学生が83.3%ではあるが、授業の質評価においては、(1)～(5)のそれぞれの評価項目において、③まあそうだと思う④わりにそうだと思う⑤かなりそうだと思うと回答している。そうした点から、本授業科目は総括的評価としても「目標をやや達成した」と判断できる。この授業からは、かつての講義する側からの一方向の授業から、学生と講義者との相方向の授業への転換によって学生の授業理解が深まることに気づかされた。来年度には、本科目は開講されないが授業評価を通して学んだことを他の授業科目で活かしたい。</p>
------------------------------	--

学科	生活創造
氏名	富田 純史

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
食環境論	1	前期	選択	いいえ	25

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>食環境論は、1年生前期選択として今年度から担当することになった。食環境論の講義開始直前に、学科から“フード・コーディネーター”資格試験に対応した内容とすることが指示された。具体的には、“食品・食材の知識”であったため、シラバス記載の内容を指示に沿ったものに急遽変更、必要な参考書・過去問などの手配を行った。講義内容は、①概論、②各種食材、③歴史と文化、とした。2013年の過去問集が入手出来たため、各講義内容に既出問題のポイントを織り込むように努めた。講義方法としては、各講義開始時に、1)講義の重点を箇条書きに板書し、2)独自に作成した配布資料、3)独自に作成したパワーポイント、4)講義に関連したDVD、を用いて理解しやすいようにした。各講義終了時に、5)講義内容に関する要望・講義中に質問できなかった疑問・感想などの自由記載、で次回の講義での速やかなフィードバックを行うようにした。質疑に対しては、口頭だけでなくパワーポイントを作成し、必要に応じて配布資料を作成するようにした。さらに、講義期間の中間と終了時に、6)講義内容のまとめと要点の説明を行うようにした。これらの方式については、講義のガイダンスにおいて事前説明を行うようにした。講義中には教壇からだけでなく教室内を適切に回ることにより質問したり必要な注意を与えたりするようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	<p>試験期間に筆記試験を実施して得られた成績は25名ほとんどが80点以上の満足すべき結果であり、再試験対象は0名であった。講義出席率も一部の家庭の事情や健康に由来するものを除けばほぼ100%であった。こうした理由として授業準備であげた、各講義開始時の、1)講義の重点を箇条書きに板書、2)独自に作成した配布資料、3)独自に作成したパワーポイント、4)講義に関連したDVD、を用いた点、に加えて各講義終了時に、5)講義内容に関する要望・講義中に質問できなかった疑問・感想などの自由記載、での速やかなフィードバック、質疑に対しての口頭だけでなくパワーポイント・配布資料による理解補助、講義中間と終了時の、6)講義内容のまとめと要点の説明、教室内を回っての質問や注意、などが奏功したものと考えられる。学生による授業評価では、到達度自己評価、質評価、学習量評価、情報利用、図書館利用評価において、1～2名の評価が低いものが見られた点は次回の改善点として、全員の満足度が得られるように検討したい。次年度では、“フード・コーディネーター”資格試験に対応した重点を含みながら受験勉強ではない講義内容になるよう整理したシラバス作成を行うべく検討を進めたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性: 本科目は1年生前期選択であるが、高校卒業して入学したばかりであるため専門的な知識や将来的な展望・目的がやや不足している場合もあると考えられる。このため、本講義では単に受験準備のための講義でなく当該分野に興味をもち将来的計画への一助となるように工夫した。講義中の受講態度、毎回実施した要望・質問・感想の結果並びに最終試験結果から内容的には妥当なものであったと考える。②DP, 行動目標からみた内容的妥当性: 入学時の知識による理解・思考判断は、他の受講科目と補完していることが上述の要望・質問・感想の内容から判断できるものであった。従って、内容的には妥当であったと考える。③まとめ: ①並びに②から、内容的妥当性に問題はないと考える。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の到達度自己評価ではいずれの項目も平均値3. 2、授業の質評価ではいずれの項目も平均値3~3. 2であった。学生の参加と思考の機会は時間的制約と講義分野の性質から十分得ることが出来なかった。次年度ではシラバスを工夫することで可能となるよう検討したい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>入学直後の前期に実施する講義として基礎的知識の理解と興味をもたせることにはある程度達成できた。来年度にむけた課題としては、1)本講義に関心の低い学生にも受講しやすい講義内容の工夫、2)本講義に関連した他の講義内容についてシラバスだけでなく実際の担当教員との意見交換や打合せの機会、が挙げられる。とくに後者が得られれば学生への負担軽減と効率的なより系統的な講義が実施できるものとする。昨年度は“フード・スペシャリスト”資格試験を念頭に講義を組み立てたが今年度は“フード・コーディネーター”資格試験受験に変更された。こうした点についてもシラバス作成前に担当教員間の交流の場が今後期待される。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	生活創造
氏名	木村久江

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
フードコーディネータ論	2	前期	選択	いいえ	18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○				○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本授業はフードコーディネーター試験受験者のための必須教科であるが、全員が資格取得を目指すわけではなく、今回の受講動機を見ると「資格取得に必要」である学生は14%と少なく、「関心のある内容」71%、「単位を確保する」14%、「友人が履修している」14%と分かれ、フードコーディネーター受験者のための授業展開を行うと、受験しない学生の知識理解が低下したり、関心を引きつけることが出来なくなること留意して、全ての学生に理解しやすく、関心が持てるように行ってきた。</p> <p>②フード ③全員</p> <p>コーディネーター試験受験者が合格後、社会に貢献できるように基礎理論や実際に食生活の場で実践できるように配慮してきた。</p> <p>に関心を持たせる為、テーブルコーディネートの演出など各個人で演出できるように図書館の図書を参考にし、テーブルコーディネイト発表会を計画した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①最終的な成績の平均値は83点であり、再試験対象は0名であった。学生の83%が標準レベルに達したが理想レベル(概ね90点以上として試験を作成)に達したのは4名であった。</p> <p>②学生による授業アンケートから知識理解 (DP1)に関しては、平均値4.2、中央値4.0とフードコーディネートの基礎知識が確認、修正したり新たに得ることができたと考えられる。また、技能表現 (DP5)に関しては、平均値3.8、中央値4.0でテーブルコーディネイト等の表現力が身につく、学生の自信に繋がったと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「専門教育科目」であり、フードコーディネーター試験受験を合格に導くための重要な位置づけとして必須科目である。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 到達度自己評価から、学ぼうとする専門分野で必要となる技術の修得ができたと考え。また、テーブルコーディネイトに於いて創意工夫し、自分なりの表現力を高められたとする評価が多かった。内容的には妥当と考える。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的には妥当であったと考える。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①授業の質の評価では、いずれも平均点で、4.2～3.7と大きな課題はないと思われる。しかし、授業準備の欄で指摘したようにフードコーディネーター試験を受験しない学生も受講するなど受講動機が異なるため、それぞれの学生の理解度を把握したり、質問や手助けが必要な学生に適切な説明をしてきた。今後も学生とのコミュニケーションを図り、授業を進めていきたい。</p> <p>②学術データベースやインターネットのHP検索などは、利用者が少なかった。図書館の図書で課題を調べる為、図書館利用者が過半に達しているが、今後はさらに図書活用者を拡大したい。</p> <p>③学習量の評価における、個別コメントにおいても、家庭で実際に料理を作ったとの記述が見受けられ、「フードコーディネーターにおける基礎的な生活技術」を得てそれを自分の創意を加えて実践できている学生もおり、授業の進め方も概ね妥当と考える。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>①本授業は、選択科目であるがフードコーディネーター試験を受験する学生にとっては必須科目である。また、食におけるフードコーディネーター試験の受験者が合格後、社会に貢献できるように基礎理論や実際に食生活の場で実践できるような基礎となる位置づけである。授業の達成度自己評価においても、概ね平均、中央値とも4.0程度であり、期待した修得ができたと考える。</p> <p>②DPIにある、衣食住に関する基礎的な生活技術を修得し、今後のみずからの生活に創意を加えて活用することについても概ね達成できた。(授業以外の家庭での料理の実践など)</p> <p>③今後の改善点として、受験しない学生にも理解しやすい内容で、授業以外でも、学生の食に関する質問を受ける場を増やし工夫していきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	生活創造
氏名	富田 純史

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
生活健康論	1	前期	選択	いいえ	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>生活健康論は、1年生前期選択科目であり、昨年度から担当することになった。講義開始直前に、学科から“フード・コーディネーター”資格試験に対応した内容とすることが指示された。具体的には、“健康と栄養”であり、シラバス記載の内容に沿ったものであった。しかしながら資格試験の内容について確認すべく急遽必要な参考書・過去問などの手配を行った。講義内容は、①概論、②食と栄養、③各栄養成分の代謝・健康影響、④運動と休息・精神影響、とした。2013年の過去問集が入手出来たため、各講義内容に既出問題のポイントを織り込むように努めた。講義方法としては、他の担当科目と同じく、各講義開始時に、1)講義の重点を箇条書きに板書し、2)独自に作成した配布資料、3)独自に作成したパワーポイント、4)講義に関連したDVD、を用いて理解しやすいようにした。各講義終了時に、5)講義内容に関する要望・講義中に質問できなかった疑問・感想などの自由記載、で次回の講義での速やかなフィードバックを行うようにした。質疑に対しては、口頭だけでなくパワーポイントを作成し、必要に応じて配布資料を作成するようにした。さらに、講義期間の中間と終了時に、6)講義内容のまとめと要点の説明を行うようにした。これらの方式については、講義のガイダンスにおいて事前説明を行うようにした。講義中には教壇からだけでなく教室を適切に回ることにより質問したり必要な注意を与えたりするようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された	やや達成された		

<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>試験期間に筆記試験を実施して得られた成績は17名のほとんどが80点以上の満足すべき結果であり、再試対象は0名であった。講義出席率も数名が健康に由来する理由で欠席したものを除けばほぼ100%であった。こうした理由として授業準備であげた、各講義開始時の、1)講義の重点を箇条書きに板書、2)独自に作成した配布資料、3)独自に作成したパワーポイント、4)講義に関連したDVD、を用いた点、に加えて各講義終了時に、5)講義内容に関する要望・講義中に質問できなかった疑問・感想などの自由記載、での速やかなフィードバック、質疑に対しての口頭だけでなくパワーポイント・配布資料による理解補助、講義中間と終了時の、6)講義内容のまとめと要点の説明、教室を回っての質問や注意、などが奏功したものと考えられる。学生による授業評価では、到達度自己評価、質評価、学習量評価、情報利用、図書館利用評価において、各項目で3.1～3.5であり、評価が低いものはほとんどみられなかった。これは本科目が選択でもともと興味をもっていたものが受講したことによることも一因と考える。次年度では、本分野への関心が低い学生にも受講しやすいように講義内容と講義方法を工夫したい。</p>
--	---

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性：本科目は1年生前期選択であり入学直後の実施であるが、上述の要望・質問・感想の内容から受講した学生の多くが中学・高校で予備的知識をもっていたことがうかがえた。本講義では他の担当科目と同じく受験準備のための講義でなく当該分野に興味をもち将来的計画への一助となるように工夫した。講義中の受講態度、毎回実施した要望・質問・感想の結果並びに最終試験結果から内容的には妥当なものであったと考える。②DP、行動目標からみた内容的妥当性：入学時の知識による理解・思考判断は、他の受講科目と補完していることが上述の要望・質問・感想の内容から判断できるものであった。従って、内容的には妥当であったと考える。③まとめ：①並びに②から、内容的妥当性に問題は無いと考える。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の到達度自己評価では3. 1～3. 5、授業の質評価では3. 1～3. 5であった。選択のためある程度興味と基礎知識をもった学生が参加したと考えるが、次年度では関心の低い学生も受講しやすいように講義内容と講義方法を工夫してゆきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>入学直後に受講する講義として生活健康論に関する基礎的知識の理解と興味を高めることはある程度達成できたと考える。来年度にむけた課題としては、1)本講義に関心の低い学生にも受講しやすい講義内容の工夫、2)本講義に関連した他の講義内容、とくに関連の実習についてシラバスだけでなく実際の担当教員との意見交換や打合せの機会、などが挙げられる。とくに後者が得られれば学生への負担軽減と効率的なより系統的な講義が実施できるものとする。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	生活創造
氏名	谷崎 太

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
現代企業論	1	前期	選択	いいえ	20

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>・受講動機は次の通り。①必修科目である50.0%、③関心のある内容である11.1%、④単位数を確保する44.4%、⑥友人が履修している5.6%である。</p> <p>・情報ビジネスコースにおける必修科目である。</p> <p>・経済主体としての企業の位置付けと役割等に関する講義を行った。</p> <p>・テキストは用いず、授業用に作成したスライド、配付プリント等を使用して解説を行った。</p> <p>・授業で示された手順、解説をノート等に記録し、それを予復習に利用することで、自発的学習に対応できることを想定している。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された			達成された		
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>・学科DPの知識理解 (DP1)、技能表現 (DP5)の基礎部分を担う科目として開講している。</p> <p>・受講動機、学習到達度の自己評価の結果から判断して、内容的妥当性に問題はないと考える。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none">・授業の質評価の5項目についてのスコアは3.2~3.3であり、概ね意図した授業が実施できたと考える。・学習量の評価では、予復習、自発的学習が殆どなされていないことが示唆される。・予復習に関する個別具体的指示を行う、および予復習、自発的学習の効果を検証する仕組みを工夫するなどの余地があると思われる。・図書館等の利用は、ほぼ行われていなかった。コンピュータを利用した情報の作成・伝達に関する文献、資料を参照することを促すことも学習の深耕に資すると思われる。
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<ul style="list-style-type: none">・当科目によるDP上の意義は概ね達成されていると考える。・予復習、自発的学習を促す工夫をする余地があると考ええる。・スタンダードなテキストを指定して、予復習、自発的学習に活用させてもよいかもしれない。
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	生活創造
氏名	窪田 靖生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
消費者の心理と行動	2	前期	選択	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>商品流通一般、製造業→卸売業→小売業→消費者の流れの中で、私たち消費者はどのような心理でモノを購入しようとしているのか、実例を踏まえて理解してもらうことを目指した。そしてその心理と実際の行動がどう結びついているのかを、消費者調査を含めて明らかにすることも目的とした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
		達成された		達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>期末試験の結果から理解が進んでいると判断できる。9人中8人が90点以上、そしてうち3名が100点満点だった。残りの一人も84点とりっぱな成績である。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>生徒は、いずれ家庭の主婦になるわけで、生活上の商品購入に具体的な消費者心理が生かせるものと思う。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

消費者の心理と行動については理解できたと思う。もっと理解を深めるためには、流通機構の学習も必要である。

リフレクションカード 2015年度前期

学科	生活創造
氏名	窪田 靖生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
広告論	1	前期	選択	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>広告はマーケティングの4Pの中の販売促進に属すること、企業がゴーイングコンサーンとして繁栄していくためには、差別化技術としての広告活動が不可欠であること。そして、現代の広告と過去の流れの中での位置づけなどを重点的に講義した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
		やや達成された		やや達成された		
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>期末テストの結果で8名中6名が90点以上、1名が82点と、ここまでは理解できていると評価できるが、後の2名が70点、62点とギリギリの得点だった。この2名は理解不足と感じている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「世界を変えた広告10選」を実例として、世界の広告表現の進化なおども提示したので、広告に対する理解は深まったと評価している。

リフレクションカード 2015年度前期

学科	生活創造
氏名	谷崎 太

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
コンピュータ総合演習	2	前期	選択	いいえ	5

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受講動機は次の通り。関心のある内容である60%、単位数を確保する80% ・情報ビジネスコースにおける選択科目である。 ・プレゼンテーション資料の作成など、コンピュータを利用した情報の作成・伝達に関する演習を行った。 ・コンピュータ操作の手順ならびに理論を解説した後、例題の演習を行う形で進めた。 ・コンピュータ操作の手順ならび理論の解説には、授業用に作成したスライド、プリント等を用い、問題の演習には、例題を用いた。 ・授業で示された手順、解説をノート等に記録し、それを予復習に利用することで、自発的学習に対応できることを想定している。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された			達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前期試験を経ての成績評価は、平均94点/100点であった。再試対象者は0名であった。 ・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値4.2で最も高いスコアであった。 (2)知識を確認、修正したり、新たに得ることができた ・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値3.0で最も低いスコアであった。 (5)自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた 					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学科のDPの知識理解(DP1)、技能表現(DP5)の応用部分を担う選択科目として開講している。 ・受講動機、学習到達度の自己評価の結果から判断して、内容的妥当性に問題はないと考える。
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none">・授業の質評価の5項目についてのスコアは3.8~4.6であり、概ね意図した授業が実施できたと考える。・学習量の評価では、予復習、自発的学習が殆どなされていないことが示唆される。・予復習に関する個別具体的指示を行う、および予復習、自発的学習の効果を検証する仕組みを工夫するなどの余地があると思われる。・図書館等の利用は、ほぼ行われていなかった。コンピュータを利用した情報の作成・伝達に関する文献、資料を参照することを促すことも学習の深耕に資すると思われる。
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<ul style="list-style-type: none">・当科目によるDP上の意義は概ね達成されていると考える。・予復習、自発的学習を促す工夫をする余地があると考ええる。
-------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	生活創造
氏名	谷崎 太

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
簿記・会計 I	1	前期	選択	いいえ	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受講動機は次の通り。必修科目である35%、資格取得に必要である35%、関心のある内容である10%、単位数を確保する40%、友人が履修している5%。 ・情報ビジネスコースにおける必修科目である。 ・「事務職」に就くために有益との印象をもつ学生が、技能検定の取得を想定して履修したと思われる。 ・予め、初学者の受講を想定して、テキスト、問題集の指定をした。 ・テキストの内容を理解、定着させるためには例題等による問題演習が不可欠となる科目であるため、理論を解説した後、問題の演習を行う形で進めた。 ・理論の解説には、テキスト、授業用に作成したスライド、プリント等を用い、問題の演習には、テキストの例題、問題集を用いた。それぞれ巻末に解答が掲載されているので、予習・復習等の自宅学習にも利用できるものである。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前期試験を経ての成績評価は、平均75点/100点であった。再試対象者は0名であった。 ・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値3.7で最も高いスコアであった。 (2) 知識を確認、修正したり、新たに得ることができた (10) 職業選択の参考になった ・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値3.2で最も低いスコアであった。 (8) コミュニケーション力や表現力を高めることができた 					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報ビジネスコースの選択科目として、当該コースの知識技能を深めるために開講している。受講動機、学習到達度の自己評価の結果から判断して、内容的妥当性に問題は無いと考える。
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none">・授業の質評価の5項目についてのスコアは3.3~3.6であり、概ね意図した授業が実施できたと考える。・学習量の評価では、予復習、自発的学習が殆どなされていないことが示唆される。予復習に関する個別具体的指示を行う、および予復習、自発的学習の効果を検証する仕組みを工夫するなどの余地があると思われる。・図書館等の利用は、ほぼ行われていなかったが、初学者向けの科目であるので特段支障はない。ただし、理論が身近な場面で活用されている事例等を参照するなどを促すことも学習の深耕に資すると思われる。
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<ul style="list-style-type: none">・当科目によるDP上の意義は概ね達成されていると考える。・予復習、自発的学習を促す工夫をする余地があると考ええる。
-------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	生活創造
氏名	谷崎 太

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
原価計算論	2	前期	選択	いいえ	4

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>・受講動機は次の通り。単位数を確保する:75%、関心のある内容である:25%</p> <p>・予め、初学者の受講を想定して、テキスト、問題集の指定をした。</p> <p>・テキストの内容を理解、定着させるためには例題等による問題演習が不可欠となる科目であるため、理論を解説した後、問題の演習を行う形で進めた。</p> <p>・理論の解説には、テキスト、授業用に作成したスライド、プリント等を用い、問題の演習には、テキストの例題、問題集を用いた。それぞれ巻末に解答が掲載されているので、予習・復習等の自宅学習にも利用できるものである。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>		<p>・前期試験を経ての成績評価は、平均87点/100点であった。再試対象者は0名であった。</p> <p>・到達度自己評価の項目中、次の点が最も高いスコア(平均値4.0)であった。</p> <p>(2)知識を確認、修正したり、新たに得ることができた</p> <p>(4)自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた</p> <p>・到達度自己評価の項目中、次の点が最も低いスコア(平均値3.0)であった。</p> <p>(1)自分なりの目標を達成した</p> <p>(8)コミュニケーション力や表現力を高めることができた</p>				

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>・情報ビジネスコースの選択科目として、当該コースの知識技能を深めるために開講している。</p> <p>・受講動機、学習到達度の自己評価の結果から判断して、内容的妥当性に問題はないと考える。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、イン ターネット利用」学生の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none">・授業の質評価の5項目についてのスコアは3.5～4.3であり、概ね意図した授業が実施できたと考える。・学習量の評価では、予復習、自発的学習の評価が低い。予復習に関する個別具体的指示を行う、および予復習、自発的学習の効果を検証する仕組みを工夫するなどの余地があると思われる。・図書館等の利用は行われていなかったが、初学者向けの科目であるので特段支障はない。ただし、理論が身近な場面で活用されている事例等を参照するなどを促すことも学習の深耕に資すると思われる。
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<ul style="list-style-type: none">・当科目によるDP上の意義は概ね達成されていると考える。・予復習、自発的学習を促す工夫をする余地があると考え。
-------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	生活創造
氏名	窪田 靖生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
販売論	2	前期	選択	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>日本商工会議所の検定試験「販売士3級」を受験し、「販売士3級」の資格取得を目指した。4月講義開始、7月11日受験とスケジュールがタイトで、しかも通常、関心の薄い流通・販売関係の検定のため、「その気にさせる」のが一苦勞である。ポイント部分を毎回理解度テストの名目で理解させるためのテストを実施、素直に勉強した生徒は、見事に合格することができた。そして直前講義では、過去問題の答案練習を実施し、マークシート方式検定に慣れさせることと、時間配分などを習得させた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
		やや達成された		やや達成された		
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>6名受験、3名合格、達成率50%。試験に対する意欲はみられるものの、直前に就職活動した生徒もあり、その生徒たちは真剣に受験に取り組むことができなかった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>問題は「販売士養成講習会 3級テキスト」から90%以上出題されるので、テキストを丹念に読み、ポイント部分を豆テストにした「理解度テスト」を繰り返し復習すれば、そんなに難しい検定ではないので、全員合格できないのは不本意である。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>昨年までは、講義中にテキストを生徒一人ひとりに読ませていたが、生徒からの批判もあり、今年はポイント講義に変更したが、効果アップは残念ながらできなかった。来年はまたもとに戻して批判に耐えながら講義してみたい。テキストを皆の前で読ませると、その生徒の実力がよく分かることもあるので。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>生徒をいかにその気にさせるかが課題である。</p>
------------------------------	------------------------------

リフレクションカード 2015年度前期

学科	生活創造
氏名	窪田 靖生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
販売論演習	2	前期	選択	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>日本商工会議所の検定試験「販売士3級」を受験し、「販売士3級」の資格取得を目指した。4月講義開始、7月11日受験とスケジュールがタイトで、しかも通常、関心の薄い流通・販売関係の検定のため、「その気にさせる」のが一苦勞である。ポイント部分を毎回理解度テストの名目で理解させるためのテストを実施、素直に勉強した生徒は、見事に合格することができた。そして直前講義では、過去問題の答案練習を実施し、マークシート方式検定に慣れさせることと、時間配分などを習得させた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
		やや達成された		やや達成された		
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>6名受験、3名合格、達成率50%。試験に対する意欲はみられるものの、直前に就職活動した生徒もあり、その生徒たちは真剣に受験に取り組むことができなかった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>問題は「販売士養成講習会 3級テキスト」から90%以上出題されるので、テキストを丹念に読み、ポイント部分を豆テストにした「理解度テスト」を繰り返し復習すれば、そんなに難しい検定ではないので、全員合格できないのは不本意である。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>昨年までは、講義中にテキストを生徒一人ひとりに読ませていたが、生徒からの批判もあり、今年ポイント講義に変更したが、効果アップは残念ながらできなかった。来年はまたもとに戻して批判に耐えながら講義してみたい。テキストを皆の前で読ませると、その生徒の実力がよく分かることもあるので。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>生徒をいかにその気にさせるかが課題である。</p>
-------------------------------	------------------------------